

SuBACo だより

2025
5月号

まちなか交流施設
すないる
SuBACo

西1条北2丁目1-20
0125-74-4885
8時30分～17時
休館日 土日祝

企画・編集
砂川市役所
商工労働観光課
地域おこし協力隊
篠原由衣・中野有菜

まちなか交流施設

すないる

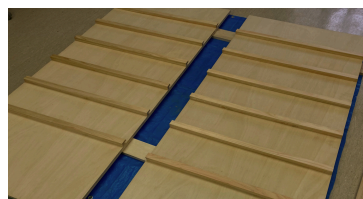
まちなか交流施設「すないる」がオープンして約1か月。

SABOT Re:cafeやんでゆつくりランチを楽しんでいたたり、お喋りを楽しんでいたたり、学校終わりに勉強をしていたり、世代問わずみなさん思い思いの時間を過ごされているようです。飲食物の持ち込みも可能なので、ぜひふらっと休憩がてらお立ち寄りくださいね。

市外の方の砂川観光におすすめの電動自転車無料レンタサイクルも始めました！

気軽に予約・お問合せください！

3年前ぶりにSuBACoの
ショップカードが復活！



はがきサイズに合わせて
いちから棚を作成しました

砂川のまちなかを案内するショップカードは随時増やしていく予定です。砂川の方も、こんな場所があったのかと新たな発見が生まれるといいなと考えています。

5/11 砂川のまちなかから色をあつめる 草木染めワークショップを開催しました



玉ねぎからオレンジ色に
たんぽぽから淡い黄色に

中高生から主婦さんまで、世代問わず楽しめる賑やかな時間となりました。輪ゴムやビー玉をつかって自分だけの好きな模様をつける作業、どんな模様になったかひらく瞬間のみなさんのわくわくする表情もまた素敵でした。何気なく目にして身近なものや、あるものを使って楽しめる選択肢をもてることも、大事なことだなあと感じます。

よりみち
すないる

ふらっとよりみちできるような、
ワークショップなどを計画中！

すないるにて、たんぽぽと玉ねぎから手ぬぐいを染める草木染のワークショップを行いました。オアシスパークからたんぽぽを、カフェくるみるさんから料理に使用する玉ねぎの皮を。（ご協力ありがとうございました！）最年少は3歳、

● 今月のひと皿

SABOT Re:cafeの
やわらかハンバーグプレート

すないる内にある〈SABOT Re:cafe〉お昼時にはとてもよい香りがしてきます。

この日いただいたハンバーグは名前のとおり、ふわっと柔らか。肉汁とソースが絡まって、おいしさ抜群、ぺろりと完食でした。

生姜焼きやカレーなどの日替わりメニューが登場する日や、あまやどりベーカリーさんのパンを販売している日もありますよ。小腹が減ったときにもぜひ。



MENU

やわらかハンバーグプレート
ハンバーグステーキプレート
ナポリタン・気まぐれパスタ
ドリップコーヒー
ソフトドリンク など

やわらかなひと口プリンに
出逢えることも、！！

SABOT Re:cafe

〒073-0161

西1条北2丁目1の20 まちなか交流施設すないる内
070-5049-1209
11時～15時（14時半ラストオーダー）木曜定休

編集後記

夏の気配も少しずつ感じるようになり、自転車での散策も気持ちの良い季節になってきました。（中野）
温度差が激しくて何を着たらいいかわからない、風邪をひきやすい季節になってきました。（篠原）

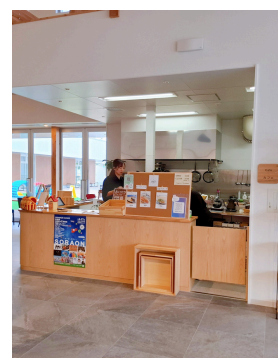
SuBACoだよりのバックナンバーは

市役所・商工労働観光課SuBACoにて配布中！

美味しいごはんと人柄で
心にゆとりを持てるカフェ



店主の石田健太さん(左端)とスタッフのみなさん。みなさん明るくて楽しい方ばかりです！



4月にオープンした「まちなか交流施設すなわ」の中にある「SABOT Re:Cafe (サボリカフェ)」は、「SABOT(サボ)」というお店から派生したカフェになります。過去にSABOTでもランチ営業をしていましたが、冬場の車の停めにくさからあまり集客が見込めず辞めざるを得ませんでした。そんな折、すなわの内のカフェの募集があり、お客さんの来やすさやSABOTの顔を屋の街中に出すことができるといった魅力から応募することに決めた、と話すのは店主の石田健太さん。



石田さんは元々、病院食や給食の調理師を目指して食の世界に飛び込みました。特に病院食は治療による制限もあって味気ないものが多いので、せめて見た目だけでも美味しそうにできるのではという思いから、高校卒業後に調理の専門学校へ行き、その後老人ホームの調理師として3年働きました。時々自分で配膳に行った時に美味しい、綺麗だったという言葉をもらえたそうです。

もっと多くの人に食事が楽しみになってほしい、食を通して喜んでもらいたいと思うようになり、老人ホームの調理師を辞めることにしました。その後、食べ物も楽しめるバー「フードバートAKU」のオーナーに声をかけてもらい、雇われ店長として5年ほど働き、その後店名を「SABOT」に変え、現在の場所で独立しました。店名は石田さんがずっと付けたかった名前だったそうで、色々な人がさばれる、力をぬける場所になるようにという思いが込められています。



カフェのメニューについて、誰にでもなじみがあるって、家でも食べられるものにしたかったそうで、なんと作り方も聞かれたら教えてくれるそう。でも家よりお店の方が美味しい、調理できる人ってすごいんだなと思ってもらえる料理を提供するのがお店のこだわりです。

「美味しいものを食べて、コーヒーを飲んでほっとして、ちよつとでも心にゆとりを持てるような人が増えていくお店になっていったら」と石田さん。みんなが「あそび」を持てたらと思う、石田さんらしい言葉です。

SABOT Re:Cafe

〒073-0016

砂川市西1条北2丁目1の20

080(1883)6964

11時~15時

木曜定休